



図書を楽しむ

校長 寺西 恒宣

皆さんは、教科書以外の本をどのくらい読んでいるでしょうか？

「マンガを読んでいるよ。」との返事も聞こえてきそうですが、マンガ以外についてはどうでしょうか。

「15歳から始まる高専でのカレッジライフを如何に有意義なものとするか！」、こう考えたとき、皆さんにできるだけ多くの本を読むことを勧めます。このころ読んだ本は、生涯、心に残るからです。私の場合、すでに約50年も前のことになりますが、その頃のことをまだ覚えています。漱石や鷗外を手始めに、旺文社の文学全集を次から次へと読み漁りました。深い意味もよくわからず、読んだものです。ですが、歳を重ね、学会等でその道の第一人者と言われる著名な方々と会う中で、それの方々が専門分野だけでなく、広く一般教養にも優れ、柔軟で豊かな発想をしていることを目の当たりにしました。それはちょっとした会話の中に出てきます。「あっ、ここは○○の生まれ育ったところですね」「この温泉の成分は○○で、結晶構造が△△ですね」「この山の地質は○○ですね。だから外国の△△と同じ形状をしているんですね」「この地域は歴史的に○○で、その後、△△に…そして産業革命が始まり…」「原油価格が1バレル○○ドルで、世界情勢は○○…」などなど。一見、雑学かもと思えるものの、いつの間にか最先端の研究に結びつき、これを教養というのかと感心すると同時に、自分の教養のなさを反省したものです。文学書、歴史書、地理、地学、経済、心理学、和書

でも洋書でも、いろんな本を読み自分のものにしておくことにより、人生がより深く幅も広がり楽しみなものになることを知りました。

本校図書館には、リベラルアーツコーナーがあります。英語の多読本も沢山あります。どうぞ、皆さん、いろんな本をどんどん読んでください。まずは単に読み流すのもいいですが、「思索を巡らしながら読む」ことを勧めます。より読書が楽しく奥深いものになります。そして、豊かな教養とともに、これまでの自分の考え方方に固執しない多様で柔軟な考え方方ができるようになります。これがリベラルアーツの魅力の一つかと思います。

一方、文学書や歴史書、経済学書とは異なり、医薬工など様々な分野で、「ネイチャー・テクノロジー」に関する本も面白いです。蚊やカタツムリをヒントにした「刺されても痛くない注射針」や「汚れにくいタイル」など、その原理を聞いてみると「アッ、そういうことだったんだ」と。

これらの本を通じ、これまで「あたりまえ」と思っていた自然（自然現象）を、改めて「なぜ？」と考え、さらに「何かに応用できないか！」とまで考えることを皆さんに勧めます。それは、いま、創造性豊かでエンジニアリング・デザイン能力に優れた実践的技術者が国際的に求められているからです。「なぜ？」からスタートし「応用」を考えることは、新たに発見した現象のメカニズムを科学的言語により論理的に記述・法則化し、さらにそれらを持続可能な社会づくりに応用する実践力を育むことにつながります。高専での学びは、その橋渡しとなるでしょう。

「自然」のもつ「やさしさ」や「厳しさ」、「思いやり」、「ありがたさ」なども合わせ、皆さんのが、大いに「自然と遊び、自然から学ぶ」ことを願っています。

目次

図書を楽しむ	1
新任教員おすすめの本	2
図書委員長挨拶	4
図書館研修について	5
図書館利用統計	6
図書館利用案内	7
読書感想文・エッセイコンクール応募要項、米子高専文化セミナーお知らせ	8

新任教員おすすめの本

英語で愉しむ信長・秀吉・家康と戦国時代
著者名：小倉弘
刊行年：2011年
出版社：有限会社プレイス

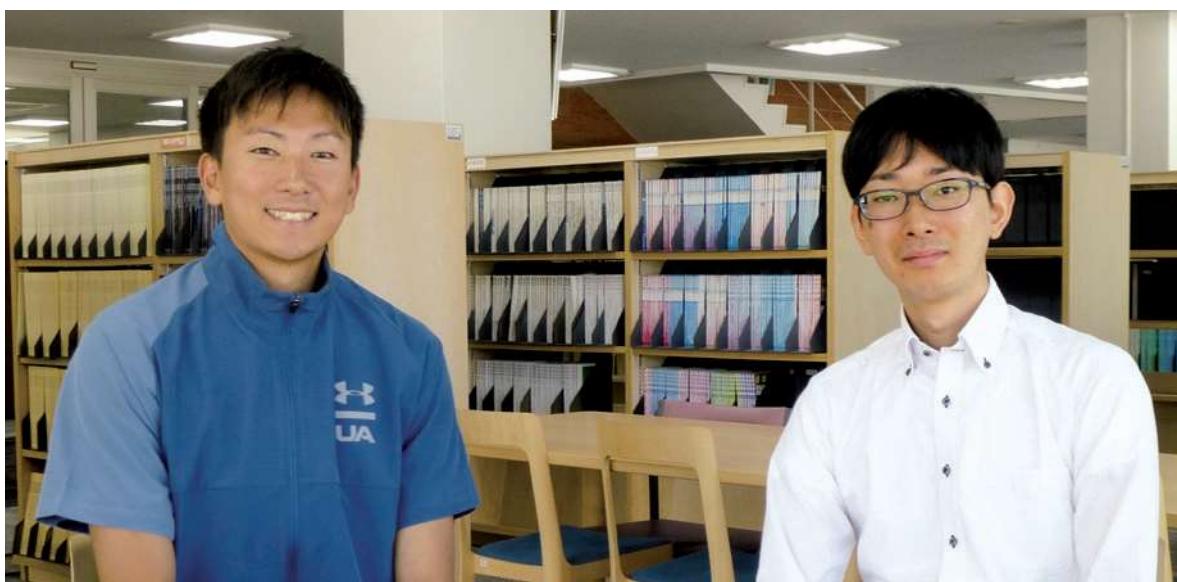
電子制御工学科 川戸 聰也 先生

皆さんは英語が好きでしょうか。正直、私は嫌いです。国際化の進む現代において英語は必須な技能なので、身に付けておくに越したことはありません。私自身、教員や研究者を務める上で英語に触れる、英語が必要になる機会が多いのですが、なかなか好きにはなれません。勉強しようとしても楽しくなく、身に付きづらいため苦手なままでです。さて、皆さんは歴史が好きでしょうか。私は好きです。特に、日本の戦国時代や中国の三国時代が大好きです。興味のある歴史番組（主にNHK）は欠かさず見ており、遠出した際は歴史的建造物を見て回るなど、歴史に触ることは楽しいです。

ふと、歴史に触れつつ英語の勉強もできないかと思い立ちました。そこで手に取ったのが、今回、私が紹介する本になります。本書は、信長、秀吉、家康に焦点を当てた戦国時代の歴史を、英語と併せて愉しむことを意図した構成となっています。話題や事件ごとに、左ページに関連する英文、語句の注釈、英文中の重要事項の解説が、右ペー

ジに英文の和訳、背景やエピソード、新説の紹介などが記載されており、英語と歴史を同時に学ぶことができます。英文で使われている構文は、実用する上で頻度の高いものや日本人がつまずきやすい盲点が網羅されており、効率良く英語を学習できるよう工夫されています。また、発音記号の記載や音声データの付属はないのですが、出版社が公開している本書の公式ページにて、本書の英文校閲を担当されたネイティブスピーカーの方が音声データを提供されており、スピーキングやリスニングについても学習できます。また、和訳の部分は読むだけで戦国時代の流れが分かるような簡潔な文章であり、通説とは異なる様々な研究に基づく新説（ただし、出版年である2011年時点での情報であり、現在は通説になっているなどの可能性があるので注意）の紹介なども交えられています。戦国時代についてほとんど分からず、ある程度は知っているといった習熟度を問わず、誰でも学べ、楽しめる内容です。

私は本書に出会ったことで、久々に英語を楽しんで勉強することができています。興味を持った方はぜひ手に取ってみて下さい。



(左)濱中先生、(右)川戸先生

自分のアタマで考えよう

知識にだまされない思考の技術

著者名: ちきりん

刊行年: 2011年10月

出版社: ダイヤモンド社

教養教育科 濱中 良 先生

私は就職活動を始める頃（大学3年の終わり）まで本を読む習慣が全くありませんでした。そんな私が本を読み始めた理由は、就職活動がきっかけでした。就職活動を通して自分には何かが足りないと思うようになり、自分に足りない何かを吸収したくて本を読み始めました。

社会に出て様々な職業を経験（ウェディングプランナー→消防士→ITベンチャー・中学校非常勤講師→大学院進学→大学職員→現在）して多くの人に出会いました。そこで気づいたのは、どの

職業においても活躍している人は「自分で考えて行動し、意見を伝えられる」という共通点でした。それは学生時代から思っていた自分に足りない何かでした。「これからは自分の考えをはっきり伝えよう！」そう思いましたがなかなか思うようにいきませんでした。そんな時に読んだのが「自分のアタマで考えよう 知識にだまされない思考の技術（ちきりん）」でした。内容ははっきりとは覚えていませんが、自分がこれまでネットやテレビ、本で得た知識を鵜呑みにしているだけで自分の頭で考えることをしてこなかったことに気づかされました。学生のみなさんには、手に入れた情報やこれまでの知識が本当に正しいかどうか、自分はどう思うのか、自分で考えられるようになってほしいと思います。

特別貸出について

下記休業期間は、本の長期貸出を行っています。
課題・資格試験等にご利用ください。

夏季休業特別貸出

貸出期間: 令和元年7月26日(金)～9月17日(火)
返却期日: 令和元年10月2日(水)

冬季休業特別貸出

貸出期間: 令和元年12月11日(水)～12月24日(火)
返却期日: 令和2年1月8日(水)

※ 貸出冊数は5冊まで

図書委員長挨拶

前期図書委員長 建築学科3年 長谷川 千紘

学生図書委員会前期委員長を務めています、3年建築学科の長谷川千紘です。この欄では、学生図書委員会がどのような活動を行っているのかをお話ししていこうと思います。

そもそも、学生図書委員会の役割とは何でしょうか。僕は、「図書館と学生をつなぐこと」であると考えています。

その役割を果たすために行っていることのひとつに、月に1回開催している会議があります。各クラスの委員に出席してもらい、図書館や学生図書委員会が主催する催しの企画・準備や催しを開催した後の反省などを行います。委員の皆さんには、会議で意見を述べてもらったり、開催が決定した催しの情報などを各クラスに持ち帰って周知をしてもらったりしています。

ここで、先ほどの話に出てきた「催し」についてお話しをおきます。催しは学生が本と接する機会を増やすことを目的としています。ここでは、2つの催しについてお話しします。1つ目は、全国大会も行われる本のプレゼン合戦「ビブリオバトル」です。各発表者がそれぞれの選んだ1冊の本をプレゼンし、発表を聞いた人が「どの本がいちばん読みたくなったか」を基準として投票を行って勝者を決めます。米子高専でも全学年を対象に年に2回程度開催しており、毎回4～5人の学生に発表者として参加してもらっています。2つ目は、公共図書館の見学会「図書館研修」です。今年は、6月12日に鳥取県立図書館を見学させていただきました。見学先の都合などで、昨年、一昨年は中止となつたため、今年は3年ぶりの開催となりました。そのため、僕にとっては初参加の催しで、委員長としても参加者が集まるなどの不安もありましたが、委員以外の学生の参加もあって、16人が集まりました。普段、職員の方以外は立ち入り禁止の地

下書庫の見学など、大変貴重な体験ができ、とても濃い時間を過ごすことができました。

学生図書委員会は、先ほど述べたこと以外にも、今お読みいただいている米子高専図書館報「としょぶらり」への寄稿、学生の皆さんに図書館に置いてほしい本をリクエストしてもらう「リクエスト図書」、委員が書店に出向き学生の目線で図書館に置きたいと思う本を探す「ブックハンティング」、米子高専の先生方が身近な疑問から最先端技術に至るまで、様々な課題をテーマとして行われている講演「文化セミナー」の補助など、多岐にわたる活動を行っています。

学生図書委員会は、図書館と学生をつなぐ重要な役割を果たしています。決して「本に触れさせること」を仕事としているのではありません。僕自身、小学4年生からずっと図書委員として活動し続けていますが、未だに、「本と触れ合うきっかけづくりをする」ということはなかなかに難しいことだと感じています。これからも、図書館が学生の皆さん的心や生活を豊かにできる存在であるよう、一生懸命に活動していきたいものです。皆さん、「暇があれば」で良いですので、館内の書架をのぞいてみてください。これまで僕は、そうやっていろいろな本と出会い、育てられてきました。図書館を「専門書を探す場所」や「勉強をする場所」として使ってもらえるのはもちろん嬉しいことですが、ぜひ、「人生を豊かにする出会いの場」としても使ってもらえると良いかなと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

図書館研修について

前期図書副委員長 物質工学科4年 平井 墨

皆さんは鳥取県立図書館を利用したことがありますか？6月12日、私たち有志学生は鳥取県立図書館に研修に行き、鳥取県立図書館について学んできました。

鳥取県立図書館は約110万冊の蔵書があり、小説などの文学だけでなく、技術書、専門書など様々な本があります。また、年間の本の購入に約1億円の予算をつけており、最新の本も揃っているそうです。本の購入予算1億円は全国の県立図書館の中で5位であり、県民一人あたりに換算すると全国1位と大変力を入れているそうです。

図書館内には、鳥取県ならではのユニークなコーナーも多くありました。例えば、鳥取県は多くの著名な漫画家出身地であることから「まんが王国とっとりコーナー」として、鳥取県出身の漫画家の作品を揃えたコーナーがあったり、鳥取県にはお年寄りが多いことから「いきいきライフ応援コーナー」として、お年寄り向けの本や文字の大きい大活字本をそろえてあるコーナーがあったり、県民に寄り添った図書館づくりがなされていました。私たちにとって特に重要な技術書や専門書も充実しており、高専図書館においていらないような高価なものもありました。

今回の研修で私たちは鳥取県立図書館について

て様々なことを学ぶことが出来ました。鳥取県立図書館を直接利用することはなかなか難しいですが、高専図書館の方に申請することで、鳥取県立図書館から本を取り寄せることが出来ます。申請してから原則2日以内には本が届くそうで、鳥取市から離れた米子市でも便利に県立図書館を利用することが出来ます。みなさんも是非この制度を利用して鳥取県立図書館を利用してみてください。



鳥取県立図書館 利用案内

図書館にない本は県立図書館で

手続きは簡単！
鳥取県立図書館を
活用しよう

①鳥取県立図書館ホームページで検索

蔵書数は100万冊

②米子高専図書館カウンターで申し込む

『貸出希望受付票』に記入の上、
リクエストBOXへ

③2日後（原則）には届きます

※申し込み時間（曜日）によっては数日かかる場合があります

④返却も図書館カウンターで

貸出期間は2週間
※返却ボスト利用不可

図書館利用統計

1. 平成30年度 利用状況

開館日数：286日

区分	学生	教職員	校外者	合計
入館者数(人)		46,122		46,122
図書貸出者数(人)	6,490	336	92	6,918
図書貸出冊数(冊)	12,891	628	172	13,691

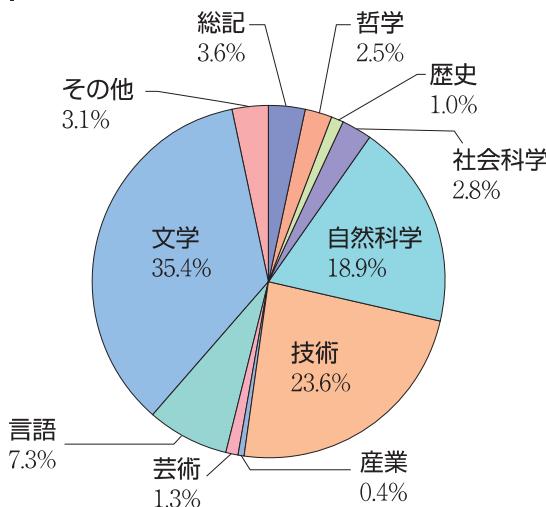
2. 平成30年度 学年・学科別貸出冊数

(単位：冊)

学年	本科					専攻科		
	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	生産システム工学専攻	物質工学専攻	建築学専攻
1年	440	712	565	740	476	325	75	19
2年	455	440	347	530	671	275	26	6
3年	296	451	296	1,101	408			
4年	256	718	335	752	314			
5年	366	509	224	548	215			
合計	1,813	2,830	1,767	3,671	2,084	600	101	25

3. 平成30年度 分類別貸出冊数・貸出率

分類	貸出冊数(冊)	貸出率(%)
総記	465	3.6%
哲学	321	2.5%
歴史	127	1.0%
社会科学	363	2.8%
自然科学	2,442	18.9%
技術	3,039	23.6%
産業	55	0.4%
芸術	173	1.3%
言語	940	7.3%
文学	4,569	35.4%
その他	397	3.1%
合計	12,891	100.0%



4. 平成30年度 分類別貸出順位第1位

分類	貸出回数	書名	著者等
総記	12	PIC アセンブラー入門	浅川 毅
哲学	10	嫌われる勇気	岸見一郎, 古賀史健
歴史	4	五体不満足	乙武洋匡
社会科学	6	たいていのことは20時間で習得できる	ジョシュ・カウフマン
	6	失敗学：最新図解：失敗から学び、創造に生かす	畠村洋太郎
自然科学	26	大学編入のための数学問題集	碓氷 久 ほか
技術	32	オペアンプの基礎マスター	堀 桂太郎
産業	6	バナナの世界史：歴史を変えた果物の数奇な運命	ダン・コッペル（黒川由美訳）
芸術	4	色の科学	五感教育研究所編
言語	29	1 ; 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集	Educational Testing Service
文学	15	コンビニ人間	村田沙耶香
	15	The wizard of Oz	L. Frank Baum

図書館利用案内

1. 開館時間と休館日

平 日: 8時30分～20時(長期休業期間は8時30分～17時)

土曜日: 10時～15時

日曜日及び祝日: 10時～15時(定期試験前1週間及び定期試験期間中のみ)

休館日: 上記以外の日曜日、祝日、年末・年始

※ 暴風警報又は暴風雪警報が発令された場合及び自然災害等により臨時休館となる場合があります。

2. 貸出

借りたい図書と学生証をカウンターへお持ちください。

貸出冊数: 5冊まで

貸出期間: 2週間

※ 延滞図書がある場合は貸出できません。※ 貸出図書等の転貸はしないでください。

※ 禁帯出シール貼付の図書、雑誌の最新号は貸出できません。※ 検認印・写真貼付のない学生証は無効です。

※ 長期休業等の前には特別貸出を行っています。(掲示等でお知らせします)

3. 返却

返却期限までにカウンターまたは返却ボックス(講義棟1階出入口)に返却してください。

4. 貸出延長

延長希望する図書に予約が入っていない場合は1回に限り延長貸出ができます。返却期限内にカウンターにて手続きを行ってください。

5. 予約

借りたい図書が貸出中の場合は予約ができます。図書館にある『予約申込書』に記入をしてカウンターに提出してください。(OPACからも予約できます)

6. 鳥取県立図書館及び米子市立図書館所蔵図書の利用

本校図書館を通じて、鳥取県立図書館及び米子市立図書館で所蔵する図書を借りることができます。図書館にある『貸出希望受付票』に記入をしてリクエストBOXに入れてください。

※ 鳥取県立図書館から年に2回(夏・秋)、約250冊の本を貸していただき、期間限定でコーナーを設定しています。ぜひ、ご利用ください。

7. 図書のリクエスト

図書館にある『リクエスト図書』に記入をしてリクエストBOXに入れてください。

できるだけ要望に応えるようにしていますが、購入等できない場合もありますのでご了承ください。

※ マンガ本、ライトノベルは購入できません。

8. 貸出図書等の紛失

万一、貸出図書・雑誌を紛失または汚損した場合は、弁償していただきます。

大切に扱ってください。

9. 図書館開館カレンダー

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2		
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1		
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

《開館時間》						
8:30～20:00						
8:30～17:00						
10:00～15:00						
休館						

※ 天候及び自然災害等により臨時休館となる場合があります。

読書感想文・エッセイコンクール応募要項

◆応募資格 本科生及び専攻科生

◆部門

	読書感想文部門	エッセイ部門
対象図書／テーマ	自由に選んだ図書	「図書館または本に関係する体験」「本の中の印象に残る言葉」
用紙・字数	B4縦書き原稿用紙(400字詰)5枚以内 自筆による	A4用紙400字以上 応募用紙は図書館カウンターにて配付 ワープロ印刷も可とする
提出	<本科1年生> <本科2年生～5年生及び専攻科生> 図書館カウンター受付に提出	図書館カウンター受付に提出

応募作品は、個人のオリジナルで未発表の作品に限る。

◆応募締切 10月4日(金)

◆表彰

最優秀賞：1編以内、賞状・副賞(図書カード5,000円相当)

優秀賞：2編以内、賞状・副賞(図書カード3,000円相当)

佳作：3編以内、賞状・副賞(図書カード1,000円相当)

◆表彰式：11月中、最優秀賞・優秀賞・佳作作品の入選者

◆その他

著作権について

入選作品の著作権は米子工業高等専門学校に帰属する。

入賞作品の掲載について

入賞(最優秀賞及び優秀賞)作品は『としょぶらり』に掲載する。

とっとり県民力レッジ連携講座

2019年度 米子高専 文化セミナー

この文化セミナーは、身近な疑問から最先端技術に至る様々なテーマについて、米子高専の教員が分かりやすく解説する講座です。

第3回

10月20日(日)
10:30～12:30

子どもの遊び方、遊び場環境の変化

建築学科 天野 圭子

会場：米子市立図書館 多目的研修室

現代の子どもたちは、塾や習い事で忙しく、遊ぶ時間がないといわれています。また、そのわずかな遊び時間の使い方も、昔とは大きく異なっています。しかしながら、地域の活性化や、良好な生活環境の確保といった観点からも、子どもの遊び場空間の整備は重要です。そこで、子どもの遊び方、遊び場について過去との比較を行いながらお話していきたいと思います。

第4回

11月17日(日)
10:30～12:30

梨の幼果の有効利用法について

物質工学科 村田 和加恵

会場：米子市立図書館 多目的研修室

鳥取県の名産品の一つに梨があります。鳥取県における二十世紀梨栽培の歴史は100年以上と長い歴史があり、さらに新品種の栽培なども行われています。梨栽培において摘果という作業で得られる梨の幼果は現在、廃棄されている状況です。本セミナーでは、この廃棄される幼果を用いた研究に関して、特に梨幼果の寿命延長効果についてお話ししていきます。

《米子市立図書館》

※ JR米子駅より徒歩で約15分

※ JR米子駅よりお車で約5分

※ 路線バスをご利用の場合、「市役所前」バス停で下車し徒歩3分。

※ 駐車場は、米子市役所有料駐車場をご利用ください。